

# 自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## 記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目( 1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目( 88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 巖美
(ユニット名)	1ユニット
所在地 (県・市町村名)	岐阜市福富永田1976-1
記入者名 (管理者)	森 悠弥
記入日	平成 20 年 5 月 20 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	職員に意見を出してもらい、事業所独自の理念を考えた。申し送り時に唱和し、日々実施の確認をしている。	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	共有していくために申し送り時や職員との会話の中に理念を踏まえた話題を出来るよう普段から心がけています。	今後も職員同士で理念を共有し合い、その実施に努めていきたい。申し送り時に読み上げたり、普段から声を掛けあい理念を共有したい。
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	遠方に住んでいる家族や、なかなかホームに出向けない家族とも出来る限り連絡を取り合ったり、お便りを出すなどして理解を求めたり、地域行事にできるかぎり参加し、理解をして頂けるよう働きかけをしている。	家族との関わりをより一層深められる事と、地域との繋がりをより一層深められるよう行事への参加の呼びかけや地域への参加をしていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	回覧板を回す時や利用者様の散歩の時等近所の人と関わる時はできるかぎり声を掛け合えるようにしている。	地域行事への参加の位階を多く持ち、地域の住民の方達に事業所の事をもっと知って頂きたいと思っています。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	積極的に自治会の集まりに顔を出すことで新しくできた自治会に参加をさせて頂いた。地域の掃除やゴミ収集にも積極的に参加している。	職員で近隣に住んでいる者がいるため、地域の情報も入りやすいので、もっと地域行事への参加や事業所から地域に働きかけをしていけたら良いと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域コミュニティーセンターでの福祉行事等に加をしたり、他の福祉事業所との関わり合いを持ち、地域の高齢者の暮らしに役立つ事を模索しています。</p>		<p>運営推進会議や自治会での行事を通して高齢者の暮らしを支援出来るよう働きかけを続けていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>月例のミーティングを通して外部評価の意義や、自己評価の異議について話をしている。事業所のモチベーションを上げるために良い機会と受け止め、今後の事業所の発展に役立てたい。</p>		<p>全員がしっかり理解をしているかという点とまだ理解不足の部分があると思う。今後も評価の時だけに限らず、普段からの努力を怠らないようにしたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>新しい自治会に参加させて頂き、今まで以上に地域に密着した運営推進会議を始めることが出来ている。</p>		<p>今以上に地域の方が参加出来るような会議にし、積極的な意見の交換や、事業所から地域に働きかけや発信ができるホームを目指したいと思っています。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事故の報告や生活保護受給者の方の相談や手続きで行き来する機会を作っている。又地域コミュニティーセンターへお便りをおいてもらう等、地道な地域への参加を行っている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>社会福祉協議会の方に権利擁護事業や成年後見人制度について相談をし、学んだり、実際に利用者の方に制度の利用をしていただけるように話を進めている最中です。</p>		<p>実際に制度の利用をしていただけるよう話を進め、適切な制度の利用をしていただけるようにしていきたいです。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングを通して学機会を持ち、職員間で話し合い防止に努めている。</p>		<p>話し合いの場を多く持ち、今後も虐待に関する正しい知識を養っていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時にはご家族様の十分な理解が得られるよう丁寧な対応を心がけている。管理者は慎重に話を進めることを心がけたり、日常的に契約書の内容の理解に努めている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常的に不満や苦情だけでなく、意見や指摘を受けられるようコミュニケーションを図ることを心がけている。それらをミーティングの議題として話し合うようにしている。</p>		<p>ご家族と日常的に意見や情報が交換できるよう手紙を書く事や、来所時のコミュニケーションを増やしていきたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>お便りや、個別の手紙を送る事で日頃の暮らしぶりを知っていただけるよう働きかけている。又、身体状況の変化や、事故時の連絡や相談も電話等を使い行っている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段から苦情等を受けた場合は管理者に報告をし、話し合いの機会を持つことで改善に努める努力をしている。又、相談窓口として管理者が相談を受ける体制を契約書にも掲示している。</p>		<p>家族からの意見や苦情をより一層運営に反映できるよう家族等とコミュニケーションを図っていくことを呼びかけていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月次のミーティングで職員からの意見を集めるよう努めている。又、申し送り時に職員より運営に関する意見を拾えるよう意見交換に努めている。</p>		<p>毎日の申し送り時により一層意見の交換が出来るよう検討中です。職員同士が意見を出し合い、今後のホームの発展を目指していけたら良いと考えています。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員数の確保や調節ができるよう勤務を組む時は職員と相談する時間を多く取るように心がけています。又、利用者の状況に応じて対応や時間割を臨機応変に変えるように相談し合っています。ご家族様には連絡をしてもらえれば訪問して頂く時間に合わせ準備をするよう対応しています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者の交代時はご家族への挨拶のお便りと電話での連絡を行いました。できる限りの職員の配置換えを避け、馴染みのスタッフによる支援を心がけています。</p>		<p>職員の移動時や新しい職員が入った時はお便り等を通してご家族への報告を行っていききたいと考えています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来る限り管理者が職員と関わり、日常の業務の中での研修を心がけています。又、他のホームの見学や、応援に行ってもらう事で視野を広げてもらい、ホームの成長を目指しています。		法人外の研修の資料を掲示する等して参加を呼びかけていますが、ミーティング等での呼びかけも行っていきたいです。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域同業者を訪問する呼び掛けやその意義の説明を受けています。実際に訪問し合う機会を設けるなどして視野を広げ、より良いサービスを目指しています。		まだ訪問できていない近隣の事業所が有るため、今後訪問をしていきたいと考えています。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	的確な休憩時間を確保し休めるように休憩室をロッカールームに設置し、気分転換を図り仕事ができるように配慮しています。又、日頃から職員の話聞き、ストレスの原因の追及やその解決に努めるよう他ホームとも連携し取り組んでいます。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	ミーティングを通して各自が意見を言える場を提供し、意識の向上を目指しています。		ミーティングの議題を事前に告知し各自に考える時間と機会を持ってもらうことを検討しています。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	アセスメント時にこちらからの質問ばかりではなく、本人の意見や不安を聞き出せるよう話し合い行っています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	アセスメント時にご家族と本人と別々で話を聞き、お互いの困っていること、不安なことを聞けるよう配慮をしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	複数の職員で相談を受ける様にし、各自の見解を交えて必要なサービスを導き出せるよう努力をしています。		ケアマネージャー、管理者だけでなく、現場スタッフも相談時に参加をし、必要な支援を導き出せるようにしたいと考えています。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームに馴染んで頂けるよう職員からの自己紹介や他の利用者様の紹介を行い、ホーム全体で歩み寄る努力を行っています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様主体の生活を常に呼び掛けています。又、本人の要望を聞き、寄り添えるよう話し合いを行っています。		今後もより一層本人の個性が出た暮らしを援助できたら良いと考えています。その為にまず各自の個性を把握できるよう職員同士で情報を共有し、模索していきたいと思えます。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の意見や思いを介護計画書や日々の生活に生かせるようなかなか来所出来ないご家族様への本人の状態の説明や暮らしぶり等を手紙やお便りで報告し、連携を図る努力をしています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来所時に意見を交換したり、お話をさせて頂くことで徐々にお話をし頂ける場を作る努力をしています		知り得た情報をアセスメントシートに記録し定期的に見直しを行い、正しい譲歩の確保をしていきたいと考えています。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人の方にも来所して頂けるよう呼び掛けを行っています。馴染みの場所への外出支援等も積極的に行っています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員は顔の見えない利用者には声を掛けに行き、孤立して生活されないように働きかけを行っています。又、定時にお茶の時間の声掛けをすることで皆さんの関わり合う場所を提供しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用をしてくださった事を縁と考え、利用が終了した家族様とも定期的な電話での連絡をし、今現在のご本人の状態を確認しています。又、転居先とも連絡を取り合い、連携を深められるよう努力をしています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限り本人の言葉を大切に、援助の方針を決めています。又、本人主体で何事も考える事を日頃から呼び掛けています。		職員主体の介護になってしまわないように今後も日々呼びかけを行っていきたくと考えています。ミーティングや申し送り時に呼びかけを行っていきます。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その人その人に合った生活環境が作れるように本人の意見を聞くようにしています。日頃から本人を知る事を呼び掛けています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の生活パターンに注目し、日頃から何が出来て何が出来ないかを考え、援助の内容を考えています。		介護計画書に一日の生活パターンとそれに対する援助のページを入れ、職員もそれを把握し、援助計画を実施出来るよう努めていきたくと考えています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	遠方で出向けないご家族様には電話で連絡をしたり、来所時に話し合いの場を設けるなどし、それぞれの意見の反映された介護計画書の作成に努めています。		より家族の意見が聞けるようプランの見直し時期が迫っているときは来所の呼びかけを早めにし段取りをしています。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	退院後や本人に変化が合った場合は計画書の見直しを行っています。		今現在の本人の状況に適した介護計画とその実施を職員に定着できるように検討中です。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきを日頃から記入する書式を使い、日頃から援助の内容の元になることを記入してもらうことで本人に適切な援助が行えるよう努めています。		多くの気づきが集められるよう声を掛け合い、記録に残す努力を続けていきたいです。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			できる限りの対応は考えているが、具体的な支援は行っていない。今後は検討をしていきたいです。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署とは避難訓練の実施を検討中です。運営推進会議等で今後も地域との関わり合いを持つなどの働きかけをおこなっていききたいです。		地域の学校への訪問や地域行事への参加を今後も行っていききたいです。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	近隣の事業所と行き来し、適切なサービス利用をしていただけるよう働きかけています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	訪問をするなどして協働を図っている。今後は運営推進会議等で意見交換等をし、深い繋がりをめざしたいです。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームとして提携医は決めています。本人や家族の希望があれば個別の医療機関での受診の援助も行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ホームのかかりつけ医に認知症の相談をしたり、日々の様子を連絡するなどして適切な治療が行えるように努力をしています。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションの訪問を週一回受けることで相談の機会を設けている。又、電話相談をさせてもらう等して健康管理等の援助を行っています。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	主治医と家族を交えてお話を聞き情報交換に努めている。又、お見舞いに頻回に行くようにし、病院関係者との情報交換や、本人の意欲が低下してしまわないように声掛けを行うなどの援助を行っています。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師と家族と話し合い、本人にとってより良い環境が整えられるよう援助をおこなっています。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	早い段階から家族への説明と相談をし、変化に備えた準備を検討しています。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居されているユニットで話し合い、最新の配慮を心がけています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録の書き方、適切な声掛けについてミーティングにて話し合う機会を持つようになっている。又、個人情報の取り扱いには最新の注意を払うよう日頃から声を掛け合っています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人の意志を尊重するような声掛け、希望をに耳を傾けるように日頃から呼び掛けています。</p>	<p>食事のメニュー等個人の希望を反映させる場を作りたいと考えています。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事の時間、お茶の時間、入浴の時間は決まった時間に行っているが、その他の時間は各職員とその日の利用者様の状態に合わせて変化を持たせています。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>美容の資格をもった職員が各ユニットに勤務しており、定期的に散髪を行っている。又、希望の店がある方は介護計画に盛り込み、月一度散髪へ行っています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者様の好きな食べ物を定期的にメニューに取り込んだり、誕生会の際に出すなどの工夫を行っています。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>今現在は利用者様からの強い要望もない為行っていません。今後は支援をしていきたいと考えています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人に適した排泄方法を考え、おむつの使用量を控えて頂けるよう常に検討をしています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			基本的には曜日分けをし、入浴を行っていますが、本人の状態に合わせて臨機応変に対応はしています。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安心して睡眠を取れるよう寝て頂く前は牛乳をお出ししたり、リビングで落ち着いてもらってから寝ていただくよう援助を行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各自に合った役割を考え声掛けをしたりして行ってもらっています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理は金庫にて行っていますが、希望のある方はノートにつけて頂く等し、金銭管理の援助を行っています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望が有る方はできる限り、外出や買い物の支援を行っています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の要望を聞き、馴染みの場所などへの外出やドライブを行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の要望があればお応えできるようにしています。又、ご家族にも理解して頂けるよう声掛けをしています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者の方にはお茶を出す等し、又来て頂けるように援助を行っています。又、本人と居室で過ごして頂ける時間を作ることも行っています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止についてのマニュアルを用意し、職員に熟知してもらうよう声掛けを行っています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	天気が良い日等は網戸にしたり、事務所に職員が居るときは中の戸を開ける等し、開放感を感じて頂けるよう工夫をしています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員同士で声を掛け合い所在の確認をするようにしています。		入浴介助時等職員がリビングに少ない時等は注意が必要なので各自で声を掛け合うようにしています。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	各自の状態に合わせて居室内の物品を選ぶ等し、状態に合わせた対応をしています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書やヒヤリハット報告書を書いてもらい、それをリビングに置き、回覧しています。又、ミーティングで防止策を話し合う等して今後の予防に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時のマニュアルを掲示し、対応できるようにしています。消防署の行う救急救命講習に参加を予定しています。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近隣警察署等に声掛けをし、いざというときに協力を得られるよう働きかけを行っています。		避難訓練などで消防署との連携を取り、協力を得られるよう検討中です。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時や本人の状態が変化されてきた場合等の他に日頃から本人の状態を家族様と話し合い、リスクの理解を求めています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	出勤時に管理者、職員は体調の確認をするようにしています。又、変化があったときは速やかに報告をして対応するよう呼び掛けています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	記録を挟んでいるファイルに各職員が目を通せるように処方箋を挟んでいます。		内容の理解がし易いように検討中です。誰がどのような薬を飲んでいるかを記した物を検討中です。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便のコントロールが出来るよう医師と連絡を取り合い対応をしています。		薬に頼らずに普段の生活の中で自然に排便コントロールが出来るように工夫をしていきたいと考えています。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時は歯磨き、昼食後は口を濯いでいただき口腔内の清潔保持を呼び掛けています。利用者様本人にも理解していただけるよう声掛けを行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	基本の量は献立表を参考にしていますが、利用者様に合わせた調節や、習慣、趣向に合わせて調節しています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ノロウイルス対策として次亜塩素酸系の消毒液に食器を浸けることで対応しています。又、アルコールでの手指消毒や食事前の手洗いを声掛けています。		次亜塩素酸系の消毒をするために食器が傷んでしまったため食器乾燥機の購入を検討中です。再び各自の気に入った食器を使用してもらいたいと考えています。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	アルコール洗浄液での消毒を行っています。又、まな板等は夜勤時に消毒を行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	周囲に花を植えるなどの工夫をして近隣住民の方が出入りしやすい環境の整備に努めています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁紙を利用者様と一緒に工夫して配置するなどしています。又、書道などの作品を掲示したりしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下のソファで皆さんで過ごしていただくようにしています。皆さんの和みのスペースとなっています。		職員も一緒に座るなどの工夫をし、利用者様が疎外感を感じないように配慮をしていきたいと考えています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用されていた家具などを持ち込んでいただき馴染みの雰囲気を大切にいただけるよう工夫しています。		荷物が多くなりすぎないように部屋の配置や環境の整備などに配慮をしていきたいと考えています。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天気が良い日等は網戸にしたり、事務所に職員が居るときは中の戸を開ける等し、空気の入換えを行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できるかぎり物を置かないなどの工夫をし、転倒などの防止を心がけています。ヒヤリハット報告書などから事故を予測し、環境の整備に取り組んでいます。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来ることは続けていただけるよう声掛けをし、援助を行って行くように話し合っています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花や花壇などを整備し、楽しんでいただける環境作りに勤めています。		

サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者様の笑顔を作れるよう職員も笑顔が心をかけています。訪れる人も楽しんでいただけるようなホーム作りを目指していますのでよろしくをお願いします。